ソニー・太陽株式会社
インクルージョン・ワークショップ

開催日：2019 年 3 月 2 日　開催地：大分銀行　宗麟館２Ｆ
主　催：少年少女科学体験スペース オーラボ、ソニー・太陽株式会社
後　援：公益財団法人ソニー教育財団
参加者：ヘッドホン午前　32 名　午後　20 名　合計 52 名

ダイバーシティー＆インクルージョン（　一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験し、相互理解を深めるとともに、科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラム、インクルージョン・ワークショップ。
今回は、大分銀行の協力のもと、宗麟館においてペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホン、また、プログラミングの教材となる MESH を使用したワークショップに挑戦して頂きました。

第１部　ペットボトルと牛乳パックでつくるヘッドホン

まずはペットボトルの加工です。思ったより硬いです・・・。

最大の難所、巻き線作業。　がんばって巻いてます。

記念撮影

第２部　ＭＥＳＨワークショップ

ＭＥＳＨとは、つくれる、学べる、楽しめる アイデアを形にできる IoT ブロックです。

まずは色々な道具を見て、アイデアを膨らませていきます。

電子ガン完成！！

しゃもじと、コップ２つを組み合わせ、ＭＥＳＨのＬＥＤ、ボタンブロッグ、
タブレットの電子音をつなげて作成しています。

みんなでアイデアを発表しあいました。

アイデアシートにレシピを保存。

記念撮影

MESH アンケート（子ども）

・ＭＥＳＨを使って発明が出来て楽しかった。

・自分で考え作るという経験ができたので良かった。

・工夫をすることで面白い物や、役に立つものが作れたこと楽しかった。

MESH アンケート（保護者）

・初めてのプログラミングだったので、最初は何がなんだか分からない感じで

したが、どんどんつながっていく事に興味があったようです。

・十分に考える時間があったけど、なかなか苦労していました。日頃から頭を

柔らかくして考える事が大切だなと感じました。良い経験になりました。

・「あったらいいな、できたらいいな」という発想が、家庭ではなかなか意識して

出来ないので、とてもいい機会になりました。